



＜第4号＞
平成26年8月号

萩市復興だより

～ 助け合い 復興の先には 光あり ～

発行・編集
萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214

豪雨災害から1年が経過しました。7月28日を向え多くのボランティアの皆さんから応援をいただいた、昨年8月を思い出す暑さとなりました。復興へ向け歩む、萩市東部の今を紹介します。

「7月28日 萩市民防災の日」式典・防災講演会

萩市では、平成25年7月28日に発生した萩市東部集中豪雨災害の経験と教訓を風化させることなく後世に継承し自然災害についての防災意識を高めるため、7月28日を「萩市民防災の日」、7月23日から7月29日までを「萩市民防災週間」と定めました。

7月28日（月）萩市須佐総合事務所で「萩市民防災の日」式典を行い、豪雨災害で亡くなられた方々への黙とうにはじまり、被災時の状況などを映したスライド上映、浸水被害プレートの設置を行いました。その後、和田副市長により災害発生からこれまでの取組み、被災地域の現状についての現状報告が行われた後、野村市長から「訓示」がありました。

また、午後からは田万川コミュニティセンターで「7月28日萩市民防災の日」防災講演会が開催され、災害ボランティア功労者表彰として、被災当初から復旧活動の原動力となり活動されたボランティアの皆様“全ての方”として、萩市社会福祉協議会（代理受領）へ表彰が行われました。



参加者全員による黙とう



災害ボランティア功労者表彰
（萩市社会福祉協議会）

講演会では「なぜ、記録的な大雨となったか！」と題し、下関地方気象台長の田代誠司氏から大雨のメカニズムや気象情報の解説などの講演と萩市社会福祉協議会の山本真琴さん



防災講演会の様子

から「ボランティア活動の事例報告」が行われ、7月28日豪雨災害のボランティア活動状況や被災直後の様子を映し出す記録映像などにより報告がありました。昨年、萩市災害復興局へ復旧業務を支援していただいた、鎌倉市や県内他市からの派遣応援職員の方も参加され、復興への思いを新たにしました。

7.28 災害復興祈念 須佐夏まつり

7月25日（金）から28日（月）まで、須佐夏まつり実行委員会の主催により、災害復興祈念「須佐夏まつり」が開催されました。

25日、祇園祭前夜祭にはじまり、**26日**には須佐地区の松原区と本町河原丁青年部による2台の祇園車が市中を巡行しました。

巡行する道のりは、家屋への浸水被害が多く発生したところで、祇園車で披露される子供踊りは、ひととき華やかな街を取り戻していました。

須佐中津区で交差する祇園車▶



27日は、須佐漁港で「須佐男命いか祭り」が開催されました。保育園児の和太鼓にはじまり、会場では活イカ販売やサザエのつかみ取り、男命いか・マダイレースや和船競漕など色々なイベントが開催されました。和泉元彌さんのトークショーも行われ「お楽しみ抽選会」へも飛び入り参加となり、大変な盛り上がりとなりました。



和泉元彌さんとお楽しみ抽選会

最終日の**28日**は、須佐湾大花火大会が開催されました。今回の花火大会は、被災された方はもちろん地域が元気になれる真の復興を目指して、また、全国からボランティアの皆さんなど多くのご支援いただいた皆さんに感謝の気持ちを込めて開催されたものです。



きただにひろしさん（アニソンライブ）

花火大会の前には“龍神太鼓”や“よさこい踊り”が行われ、特設ステージでは復興祈念ライブとして、きただにひろしさん（萩ふるさと大使）や、影山ヒロノブさん、遠藤正明さんの“アニソンライブ”で大熱狂の一夜となりました。



萩市災害復興局災害復旧事業

労働災害防止及び暴力追放協議会が設立されました

災害復旧工事に従事する工事関係者の安全対策と災害復旧事業への暴力団等の介入に対し、会員間の連絡調整その他必要な措置を講じることで、災害復旧事業が円滑に進むことを目的として、萩市と災害復旧事業に携わる事業者等（27社）により「労働災害防止及び暴力追放協議会」が設立されました。

8月6日（水）萩建設会館で、設立総会が開催され役員選出や規約審議を行い協議会設立となりました。

「労働災害防止のための対策を推進し無事故無災害活動を行う。暴力団等による様々な介入活動へも会員一同断固排除する。」との決意表明があり、閉会となりました。

設立総会の様子▶



災害復興を祈念 “和泉元彌 狂言公演”

7月26日（土）田万川ふるさとづくり協議会の主催で、復興支援を目的とした「7. 28 萩市東部集中豪雨災害復興祈念 和泉元彌 狂言公演」が田万川コミュニティセンターで開催されました。

萩ふるさと大使の和泉元彌さんを招き狂言公演をとおして、復興への元気とひとときの癒しで、今後の活力になればとの思いで開催されたものです。

“吉田松陰創作狂言”など、その静かな迫力に、観覧する410名の方は引き込まれ魅了されました。また、前日の25日には阿北苑を慰問され、和泉元彌さんから励ましと元気をいただきました。



狂言公演の様子



阿北苑への慰問

夏だ！「ひまわりロードフェスタ」開催

昨年、豪雨で中止となった“ひまわりロードフェスタ”が7月27日（日）むつみ地域のひまわりロードと隣接するむつみ物産販売交流施設を会場に開催されました。

10万本を超える“ひまわり”が多くの来場者を迎えるなか、むつみ物産販売交流施設前は、農産品や特産品、鮎の塩焼きなど多くの出店があり、各ブースで地元産品を購入される方など多くの来場者で賑わっていました。



地元産品の販売（むつみ物産販売交流施設前）



田万川総合事務所前面

災害復興祈念スローガンについて

昨年12月に募集した復興標語から「災害復興祈念スローガン」として決定した6作品のひとつをご紹介します。現在、田万川総合事務所・小川小学校前に掲示中です

《災害復興局長賞》

“助け合い 復興の先には 光あり”

多磨小学校3年 若松加奈さん 作品
(学年等は、平成25年12月現在)

災害復旧工事 着々と進む

市の管理する河川や道路及び農地・農業用施設など国・県の補助事業となる災害復旧工事については、概ね発注を終え、順次、工事の着手を進めているところです。発注状況等は次のとおりです。

■土木・農地等災害復旧工事（補助事業）

区 分	全 体 件 数 A	発 注 件 数		着手件数(完了含む)	
		B	B/A	C	C/A
公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧	270 件	267 件	98.9%	122 件	45.2%
農 地 ・ 農 業 用 施 設 災 害 復 旧	474 件	453 件	95.6%	71 件	15.0%
林 業 施 設 災 害 復 旧	18 件	18 件	100.0%	17 件	94.4%

※件数は災害査定の箇所数

(H26.7.25 現在)



むつみ地域（市道大迫線）



須佐地域（市道松原上三原線）

JR山陰線(須佐～奈古駅間)復旧 運転再開

豪雨災害で不通となり、バスによる代替運行が続いていたＪＲ山陰線の須佐駅から奈古駅間について、８月１０日（日）から通常運転が再開されました。昨年１１月９日、益田駅から須佐駅間の運転が再開されており、これで山陰線全線の運転再開となります。



始発便を迎える須佐駅（8月10日）

台風１１号の影響で式典及び関連行事は中止となりましたが、８月１１日（月）にＪＲと萩市により運転再開を祝して山陰線の利用促進と観光ＰＲを須佐駅構内で行いました。

今後は通常運行となります。

踏切などを通行する際は、列車の運行に十分注意しましょう。



須佐駅でのPR（8月11日）▶

発行：萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214 FAX 08387-6-2218

生活再建支援事業部 TEL 08387-6-2213
都市基盤復興事業部 TEL 08387-6-2215
産業再生事業部 TEL 08387-6-2217